

## 捕獲対策関連事業

## ●令和元年度 エゾシカ対策推進費（継続：道費）

予算額 11,740 千円（前年度 11,740 千円）

## 1 事業目的

鳥獣保護管理法規定により策定した北海道エゾシカ管理計画に基づき、エゾシカの個体数を適正に管理し、被害の低減を図る。

## 2 事業内容

- 協議会、エゾシカ対策有識者会議の開催
- ライトセンサス調査、捕獲状況調査等経費

## ●令和元年度 エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業費（継続：指定管理捕獲等事業交付金）

予算額 72,565千円（前年度 82,381千円）

## 1 事業目的

エゾシカ管理計画の捕獲目標達成のため、関係機関と連携し、鳥獣保護管理法第14条の2に基づく指定管理鳥獣捕獲等事業を計画的に実施する。

## 2 事業内容

- 捕獲事業
 

鳥獣保護区など市町村等による捕獲が困難な地域において、認定鳥獣捕獲等事業者等による捕獲を実施する。
- 生息状況調査
 

捕獲事業の実施に必要なエゾシカの生息状況調査等を実施する。
- コーディネーター養成研修
 

関係機関との連携強化を目的とした振興局職員向けの研修を実施する。

## 3 実施箇所

## ○捕獲事業

振興局	市町村	地区	捕獲規制等
渡島	函館市	恵山	道保護区・道立自然公園
檜山	厚沢部町	太鼓山	道保護区
胆振	苫小牧市・厚真町	苫東	特定猟具禁止区域(銃)
日高	えりも町	新浜歌別	シカ捕獲禁止区域
宗谷	稚内市	稚内	道保護区
オホーツク	北見市	ワッカ	道保護区・国定公園
根室	根室市	落石	特定猟具禁止区域(銃)
釧路	釧路市	高山	道保護区
十勝	広尾町	大丸山	道保護区

○生息状況調査

振興局	市町村	地区	内容
上川	中川町・音威子府村	北大研究林	赤外線カメラを使用したドローン撮影
宗谷	稚内市	稚内	GPS テレメトリー調査（データ取得のみ）
十勝	広尾町	大丸山	GPS テレメトリー調査
根室	根室市	落石	GPS テレメトリー調査

○コーディネーター養成研修

開催地	会場	テーマ	参集範囲
札幌市	道庁別館庁舎 9 階第 1 研修室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)	・指定管理鳥獣捕獲等事業 ・エゾシカ捕獲対策の推進	振興局エゾシカ対策 担当者

※ 6 / 1 2 ~ 1 3 実施済

●令和元年度エゾシカわな捕獲技術等向上事業費（継続：鳥獣被害防止総合対策交付金）

予算額 4,585 千円（前年度 5,283 千円）

1 事業目的

エゾシカの捕獲頭数増加のため、わな捕獲技術の向上を図る。

2 事業内容

電気柵等によるエゾシカ誘導試験や、捕獲事例の収集整理等により、わなによる効果的な捕獲技術を確立する。

●令和元年度エゾシカジビエ利用拡大推進事業費（継続：指定管理鳥獣捕獲等事業交付金）

予算額 121,000 千円（前年度 121,000 千円）

1 事業目的

エゾシカジビエの利用拡大を推進するため、狩猟者の育成を図るとともに、食肉処理施設への搬入経費及び廃棄物処理経費に対する支援等を行う。

2 事業内容

○狩猟者育成講習の開催

狩猟免許所持者を対象として、エゾシカの食肉利用に係る衛生管理知識及び食肉利用を前提とした捕獲技術取得のための講習会を開催する。

○狩猟者への支援

狩猟により捕獲したエゾシカを食肉処理施設に搬入するための経費（2 頭目以降）に対する支援を行う。

○食肉処理施設への支援

本事業に伴い発生する廃棄物の処理経費及び事務経費に対する支援を行う。

※ このほか、捕獲対策関連経費として、エゾシカ緊急対策交付金（地域づくり総合交付金）がある。

## 有効活用関連事業

### ●令和元年度エゾシカ利活用推進地域モデル実証事業費（継続：地方創生推進交付金 1/2）

予算額 13,000 千円（前年度 13,000 千円）

#### 1 事業目的

平成28～30年度に実施したエゾシカ利活用推進地域モデル実証事業等を踏まえ、地域モデル普及アドバイザーの派遣、エゾシカを原料とする皮革、ペットフードの活用拡大、食肉向け射撃テキストの作成を行い、エゾシカの地域資源としての一層の活用を図る。

#### 【北海道地方創生総合戦略 KPI】

エゾシカの捕獲頭数に占める利活用率（H25：15.9%→H31：21%）

#### 2 事業内容

##### ○地域モデル普及アドバイザー派遣事業（委託）

捕獲個体の利活用推進を検討している地域を専門的知識、経験を持つアドバイザーが訪問し、地域事情に合わせた効果的な課題解決の方策について助言を行うことで、利活用の推進を図る。

〔派遣回数〕 8回（空知2回、渡島2回、宗谷1回、留萌1回、十勝2回）

〔内容〕 関係者との意見交換、現地等視察、捕獲個体の有効活用に係る総合的な助言

##### ○皮革活用拡大事業（委託）

エゾシカを利活用することの意義・趣旨やエゾシカ革の持つ特性や魅力を説明する資料を作成し、展示会等でPRを行うことで、エゾシカ皮革の認知度向上と活用の拡大を図る。

〔内容〕 エゾシカ革PR資料の作成、イベント等でのプロモーションの実施

〔対象〕 皮革・ファッション関係者・消費者等

##### ○ペットフード活用拡大事業（委託）

エゾシカを利活用することの意義・趣旨やエゾシカを使用したペットフードの特性、入手先等を紹介する資料を作成し、獣医師やペットオーナー等にPRを行うことで、その認知度向上と活用の拡大を図る。

〔内容〕 エゾシカペットフードPR資料の作成、イベント等でのプロモーションの実施

〔対象〕 獣医師、動物看護師、ブリーダー、ペットフード事業者、消費者等

##### ○食肉向け射撃テキスト作成（委託）

食肉処理施設が求める良質で歩留まりのよい個体を得るための射撃方法をまとめた手引きを作成し、ハンターの知識・技能を向上させることにより、食肉処理施設に搬入、食肉処理される個体数の増加を図る。

〔内容〕 有識者やベテランハンターへの取材、食肉向け射撃テキストの作成と実証試験

## ●令和元年度エゾシカブランド化推進事業費（継続：鳥獣被害防止総合対策交付金）

予算額 1,472 千円（前年度 1,575 千円）

### 1 事業目的

北海道固有の資源であるエゾシカの地域ブランド化推進と消費拡大による有効活用に向け、高度な衛生管理を行う施設を道が認証する「エゾシカ肉処理施設認証制度」の運用及び認証取得施設増加を図るとともに、エゾシカ肉処理施設従事者等を対象とした講習会の開催により、衛生管理等の知識向上を図る。

### 2 事業内容

○高度な衛生管理を行うエゾシカ肉処理施設を道が認証する制度の運用

○認証取得施設数増加推進

認証取得希望施設への専門家派遣（4箇所、6回）

○疾病排除レベル向上

獣医師によるエゾシカ肉処理施設従業員向け内臓検査等研修の実施（6（総合）振興局で開催予定）

## ●令和元年度エゾシカ有効活用推進事業費（継続：鳥獣被害防止総合対策交付金）

予算額 5,609 千円（前年度 5,636 千円）

### 1 事業目的

エゾシカが有する多面的な価値を生かし、販路拡大のために様々な機会でも食肉利用を推進するほか、環境教育・食育への利用、道による新たな認証制度のPR等、家庭、給食事業及びレストランでの消費・利用拡大を図る。

### 2 事業内容

○家庭での活用機会拡大

エゾシカの社会問題や美味しさ、栄養特性を普及啓発するための出前講座（講義、試食、皮革クラフト体験）を実施

○給食事業での活用機会拡大（委託）

高齢者向けエゾシカ料理レシピの開発・普及

○レストランでの活用機会拡大（委託）

レストラン・ホテルのシェフを対象に、高級食材としてエゾシカ肉を活用しているメニューと道の認証制度等を紹介するプロモーションを実施（道北【旭川市】、関西【大阪市】）

## 【指定管理鳥獣捕獲等事業実績一覧】（H27～H30）

年度	振興局	市町村	地域	規制状況	猟法	捕獲手法	捕獲実績 (頭)	
H27	日高	えりも町	目黒	国定公園 シカ捕獲 禁止区域	わな猟	囲いわな	2	
			襟裳岬		銃猟	巻狩	48	
					わな猟	囲いわな	4	
			箱わな			1		
	宗谷	稚内市 豊富町	宗谷沿岸	道保護区 国立公園	銃猟	誘引狙撃	16	
	オホーツク	北見市	ワッカ	道保護区 国定公園	わな猟	囲いわな	55	
					銃猟	巻狩	20	
	十勝	上士幌町	三股	道保護区 特定猟具 禁止区域(銃) 国立公園	銃猟	MC	3	
					わな猟	囲いわな	22	
			糠平湖		銃猟	巻狩	15	
					わな猟	箱わな	3	
釧路	浜中町	霧多布	国保護区 道立自然公園	わな猟	囲いわな	23		
小計							212	
H28	空知	三笠市	柏町	道保護区	銃猟	巻狩	43	
					わな猟	小型囲いわな	2	
	胆振	苫小牧市	王子山	道保護区	銃猟	巻狩	81	
					わな猟	くくりわな	121	
	渡島	函館市	恵山	道保護区 道立自然公園	わな猟	囲いわな	25	
根室	根室市	酪陽	国保護区 道立自然公園	わな猟	囲いわな	74		
小計							346	
H29	渡島	函館市	恵山	道立自然公園	銃猟	忍び・巻狩	0	
					わな猟	囲い・くくり	12	
	胆振	登別市	登別温泉	道保護区 国立公園	銃猟	巻狩	10	
					わな猟	くくりわな	26	
			亀田記念 公園		道保護区	銃猟	巻狩	14
						わな猟	くくりわな	6
	日高	えりも町	目黒	シカ捕獲 禁止区域	わな猟	囲いわな	17	
	釧路	釧路市	阿寒	道保護区	わな猟	囲いわな	66	
		浜中町	霧多布	国保護区 道立自然公園	わな猟	囲いわな	42	
	根室	根室市	落石	道保護区 特定猟具 禁止区域(銃)	わな猟	囲いわな	108	
	オホーツク	北見市	ワッカ	道保護区 国定公園	銃猟	忍び・巻狩	39	
わな猟					くくりわな	9		
宗谷	浜頓別町	ベニヤ	道立自然公園	わな猟	囲いわな	4		
小計							353	
H30	胆振	苫小牧市 厚真町	苫東	特定猟具 禁止区域(銃)	銃猟	MC	17	
					わな猟	くくりわな	161	
	日高	えりも町	目黒	シカ捕獲 禁止区域	わな猟	囲いわな	39	
	渡島	函館市	恵山岬	道立自然公園 道保護区	わな猟	囲い・くくり	61	
					銃猟	巻狩	26	
	オホーツク	北見市	ワッカ	道保護区 国定公園	銃猟	忍び・巻狩	36	
					わな猟	くくりわな	8	
	十勝	広尾町	大丸山	道保護区	わな猟	囲いわな	70	
	釧路	鶴居村	下幌呂	特定猟具 禁止区域(銃)	わな猟	囲いわな	51	
根室	根室市	落石	特定猟具 禁止区域(銃)	わな猟	囲いわな	103		
小計							572	
H27～H30合計							1,483	

## 平成30年度 エゾシカジビエ利用拡大推進事業

事業参加者数	1,171 名
うち搬入実績のない者	845 名
うち搬入実績が1頭の者	26 名
うち搬入実績が2頭以上の者	300 名

搬入総数	7,425 頭
うち搬入2頭目以降の頭数	7,099 頭

## 1人あたりの搬入頭数別 食肉処理施設へのエゾシカ搬入実績

搬入頭数の区分	搬入頭数	割合	うち2頭目以降	該当人数	割合
～ 1 頭	26	0.4%	0	26	8.0%
2 ～ 10 頭	711	9.6%	576	135	41.4%
11 ～ 20 頭	886	11.9%	826	60	18.4%
21 ～ 30 頭	964	13.0%	925	39	12.0%
31 ～ 40 頭	665	9.0%	646	19	5.8%
41 ～ 50 頭	653	8.8%	639	14	4.3%
51 ～ 75 頭	652	8.8%	641	11	3.4%
76 ～ 100 頭	783	10.5%	774	9	2.8%
101 ～ 150 頭	1,118	15.1%	1,109	9	2.8%
151 ～ 頭	967	13.0%	963	4	1.2%
合計	7,425	100.0%	7,099	326	100.0%

## 令和元年度エゾシカ出前講座 募集要項

北海道環境生活部環境局

生物多様性保全課エゾシカ対策グループ

## 1 目的

エゾシカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、農林業や生活環境への被害、生物の多様性への影響等が深刻化しているなか、道では、捕獲対策を進めるとともに、エゾシカを北海道固有の資源と捉え、食肉等での利用を推進しています。

本出前講座は、未来の消費者である児童・生徒などを対象に、エゾシカによる各種被害や生態系への影響について学び、貴重な命を食することについて考える環境教育・食育の場として実施し、一般家庭等におけるエゾシカ肉の普及を目的としています。

## 2 対象

- (1) 児童、生徒及びその保護者
- (2) 学校給食に関わる栄養士など

## 3 実施内容

## (1) 講義

エゾシカによる各種被害、生態系への影響、栄養特性、命の大切さについてなど

## (2) 試食

缶詰、ジャーキー、しゃぶしゃぶなど  
(料理教室の食材としての提供も可能)

## (3) クラフト

エゾシカの角、革を使ったストラップ作りなど

## (4) 体験

エゾシカの角、毛皮に触れてみる。

## 4 実施時期及び時間

令和元年度内において実施します。

1回の講座は、1～2時間程度。

## 5 実施場所

教室やイベントスペースなど

## 6 講師

エゾシカの有効活用や環境問題に携わる道職員

## 7 道の負担

- ・道職員の旅費
- ・試食・クラフトの材料費

## 8 ご協力いただくこと

- ・会場（教室）の準備（スクリーン、机など）
- ・郵送物の受け取り及び発送（送料は道が支払います。）
- ・しゃぶしゃぶや料理教室を行う場合は、調理器具等をお貸しくたさい。
- ・その他、場合により、資料のコピーなどをお願いする場合があります。

## 9 募集について

本講座に興味のある方は、下記の連絡先までご連絡をお願いします。

## 10 その他

実際の実施内容等についてはご相談のうえ、決めさせていただきます。

また、日程等の関係で、実施できない場合もありますのでご了承ください。

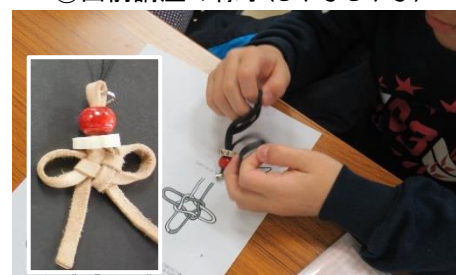
(参考) 生物多様性保全課HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/est/>  
シカの日HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/est/shikanohi/>



①出前講座の様子(角と毛皮の体験)



②出前講座の様子(しゃぶしゃぶ)

③クラフト体験  
(エゾシカの角革を用いたストラップ)

毎月第4火曜日は  
**シカの日**

2019.07.09

## 企画テーマ展「エゾシカ」開催要項（案）

### 概要説明

現在の北海道で、生き物をめぐる話題のうちもっとも大きな問題となっているのがエゾシカです。このエゾシカについて、動物としての姿から、過去の人との関わり、近年の個体数増加とそれによる影響、その対策まで、多様な視点から広く紹介し、北海道の野生動物と人との関係、その将来について考える機会とします。

### 会期

2019年10月12日（土）～12月15日（日）

### 会場

北海道博物館特別展示室

### 主催

北海道博物館

### 協力（予定・調整中を含む、資料借用先等は含まず）

- ・北海道環境生活部生物多様性保全課 エゾシカ対策グループ ほか
- ・石狩振興局保健環境部環境生活課（自然環境係）
- ・北海道立総合研究機構 環境科学研究センター
- ・北海道大学・酪農学園大学等の大学・研究機関
- ・一般社団法人エゾシカ協会
- ・一般社団法人北海道消費者協会
- ・生活協同組合コープさっぽろ
- ・エゾシカ料理を出す飲食店 ほか

### 展示構成および担当者

- ・第1章 エゾシカの生物学 （担当：博物館研究グループ学芸員 鈴木あすみ）
- ・第2章 エゾシカとヒトとの関わり （担当：歴史研究グループ学芸員 山田伸一）
- ・第3章 現在のエゾシカをめぐって （担当：自然研究グループ学芸員 表溪太）
- ・第4章 エゾシカとヒトの共生 （担当：自然研究グループ学芸員 水島未記）

※各章の名称は案であり、まだ決定ではありません



## 関連イベント

名称	開催日・期間	概要	備考
シンポジウム 「いま、あらためてエゾシカ問題を考える」	10月19日	内容：兵庫県でのシカ問題への先進的な取り組みと、エゾシカ対策の課題等を紹介 講師：横山真弓氏（兵庫県立大学）・宇野裕之氏（道立環境科学研究センター）・伊吾田宏正氏（酪農学園大学） ターゲット：主に一般成人・学生	主催：一般社団法人エゾシカ協会・北海道博物館
文化の日講演会 「植物を食べるシカ、シカに食べられる植物」	11月3日	講師：高槻成紀氏（元東京大学総合研究博物館） 内容：植物との相互関係を中心に、ニホンジカについて生物学的な面から紹介 ターゲット：主に一般成人・学生	
自然観察会「紅葉の森で動物を探そう！」	11月9日	野幌森林公園内でエゾシカの痕跡を探す観察会 講師：道博学芸員 ターゲット：一般成人・親子連れ	主催：北海道博物館 共催：野幌森林公園 自然ふれあい交流館
特別イベント 「エゾシカフェスティバル」	11月16日	エゾシカ製品の即売・試食、エゾシカ革・角加工のワークショップ等を含んだ体験型イベント ターゲット：主に子ども・親子連れ	主催：北海道博物館・一般社団法人エゾシカ協会
ミュージアムカレッジ「開拓使の頃のエゾシカと人」	11月24日	講師：山田伸一 内容：明治初期の北海道でシカがどのように利用されたのか、激減して禁猟に至ったのはなぜか、文書から探る ターゲット：主に一般成人・学生	
エゾシカスタンプラリー	会期中 (会期終了後も継続?)	エゾシカ料理を提供する飲食店等と連携したスタンプラリー	主催共催等は調整中 開催期間についても要調整
ミュージアムトーク	10月14日 10月22日 11月4日 11月23日	企画展会場での担当学芸員によるギャラリートーク 「開拓使とエゾシカ」山田伸一 「飛び出し注意看板」鈴木あすみ 「食べて減らす？ 美味しいエゾシカの話」水島未記 「馬と鹿のお話」表溪太	